

| | | | |
|-------|---------------|------|-------------|
| 3類型 | 鉱工業品の生産に係る技術 | 通巻番号 | 4-19-030 |
| 地域資源名 | 美濃和紙 | 認定日 | 平成20年 2月20日 |
| 地域 | 岐阜県岐阜市、関市、美濃市 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名：美濃手漉き和紙の伝統的技法及び和紙加工の独自技術を使用して、美濃手漉き和紙の特徴を活かし、「和」の伝統と「モダン」なアートセンスを加味した、「美濃手漉き透かし和紙」「水うちわ」「屋外用和紙提灯」の製造・販売事業

会社名：家田紙工株式会社

所在地：岐阜市今町3-6

連絡先：TEL：058-262-0520
FAX：058-262-0519

H P：http://www.iedashikou.com/

事業概要(新たな活用の視点)

- ・1300年以上の歴史と伝統を誇る美濃和紙であるが、生活様式の変化・安価な外国製品の流入等により厳しい状況に直面。
- ・創業以来120年に渡り培ってきた美濃手漉き和紙の技術を応用したオリジナルのこだわりの商品、「美濃手漉き透かし和紙」「水うちわ」「屋外用和紙提灯」を独自ブランド「1/100ブランド」の下で製造・販売

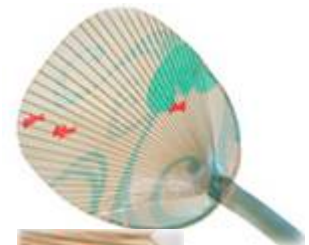


【手漉き透かし和紙のグリーティングカード】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・和紙を漉く漉き簾の上に型を重ねることにより、その型に添った形に和紙を漉く技術(この技術で重要なものは型である。)
- ・美濃手漉き和紙を主体とした、以下の新商品を製造・販売。
 - a) 美濃手漉き透かし和紙
美濃手漉き和紙の技術を応用したお札の透かしのような多様な繊細な文様を漉き入れる同社独自の技術による商品。
 - b) 水うちわ
明治時代に開発され、一次途絶えたが、同社が復活した透き通った外観と水につけて涼を取るという機能を合わせ持つ商品。
 - c) 屋外用和紙提灯
同社が新たに用途開発したコート剤を塗布することによって屋外でも使用できる(美濃手漉き)和紙提灯。



【水うちわ】



※表面拡大

◆市場性

- ・3商品の顧客層は異なるものの、いずれも日本らしく環境に優しい商品であり、同コンセプトを有する商品への需要は高まっている。

◆販路

- ・専門店 ・セレクトショップ ・ミュージアムショップ
- ・百貨店 ・神社仏閣

地域における関係事業者等との連携

- ・地域関連事業者、商工会議所等の支援、協力の下、商品化・販路開拓。



【和紙提灯】